

1 1 4. パニック値報告所要時間

2018 年度 臨床検査部 パニック値報告所要時間

目標報告時間	パニック値発見から報告までの時間が30分以内							
達成目標	パニック値発見から報告までの所要時間を30分以内達成率80%							
	血液検査室		生化学検査室		一般臨床検査室		微生物検査室	
	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)
4月	99%	8	100%	2	100%	8	100%	8
5月	98%	9	100%	3	100%	7	100%	8
6月	96%	9	100%	2	100%	7	100%	7
7月	99%	9	100%	3	100%	12	100%	12
8月	100%	7	100%	3	100%	12	92%	8
9月	99%	8	100%	2	100%	13	100%	12
10月	98%	7	100%	2	100%	7	100%	9
11月	99%	6	100%	1	100%	12	96%	14
12月	99%	7	100%	1	100%	11	100%	9
1月	99%	9	100%	2	100%	5	100%	11
2月	100%	5	100%	2	100%	8	100%	10
3月	99%	7	100%	2	100%	8	93%	13

	心電図検査室		肺機能/脳波検査室		超音波検査室	
	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)
4月	88%	17	100%	10	100%	10
5月	80%	16	100%	13	100%	12
6月	88%	15	100%	7	100%	10
7月	100%	9	100%	6	100%	6
8月	100%	10	100%	11	100%	7
9月	100%	7	-	-	100%	10
10月	100%	4	-	-	100%	7
11月	100%	6	100%	8	100%	10
12月	94%	9	100%	3	100%	4
1月	100%	10	-	-	100%	13
2月	100%	7	100%	5	100%	11
3月	100%	6	100%	8	100%	14

パニック値 (panic value) は「生命が危ぶまれるほど危険な状態にあることを示唆する異常値で直ちに治療を開始すれば救命しうるが、その診断は臨床的な診察だけでは困難で検査によってのみ可能である」とされる。そのため、臨床検査部ではパニック値発見時には直ちに臨床へ報告する体制を整えており、30分以内にパニック値報告完了を目標としている。集計は、平成29年7月から開始した。目標はほぼ達成できているが、特殊性の高い検査の場合にはその検証時間も含めるため、一部報告遅延が認められる。今後、すべての検査において目標達成できる体制構築が急務である。